



入田ヤナギ林で見られる植物と鳥

ヤナギと菜の花 (見頃: 3~5月)
入田ヤナギ林にはアカメヤナギやヨシノヤナギなどがあります。

見分けポイント 若葉の色
若葉が赤いのがアカメヤナギ。



アカメヤナギ



ヨシノヤナギ

菜の花の種類は、セイヨウアブラナとセイヨウカラシナが多く、ダイコンとの雑種もまれに見られます。

見分けポイント 葉の付き方と全体の大きさ
セイヨウアブラナは葉の付け根が茎を抱いている。また、セイヨウカラシナはアブラナより全体にやや小さい。



セイヨウアブラナ



セイヨウカラシナ



アブラナの花

代表的な植物



ミツバ (見頃: 春~秋)



ウシハコベ (花: 4~10月)



ノゲイトウ (花: 7~10月)



ギシギシ (花: 6~8月)



ヨメナ (花: 7~10月)



ヒガンバナ (花: 8~9月)



ヤナギタデ (見頃: 秋)



ミゾソバ (花: 7~10月)



ツルヨシ (見頃: 秋)



オギ (見頃: 秋)

見分けポイント 生えている場所
ツルヨシは水際の礫河原に生えている。
オギはツルヨシよりも高い場所の砂地に生えている。

貴重な植物



ミゾコウジュ (花: 5~6月) (果実: 秋)
園芸種のサルビアの仲間です。

葉と花の様子が、ツルが羽ばたいているように見えることから、「舞鶴天南星」と名づけられています。



マツカサススキ (見頃: 秋)
ススキの仲間ではなく、花が松かさの様に似て、葉がススキのようになり、名前の由来です。



タコノアシ (見頃: 秋)
秋になると、熟した実がゆでだこをひっくり返したようになることが、名前の由来です。

代表的な鳥

水辺や砂州で見られる鳥



アオサギ (よく見られる時期: いつも)



ダイサギ (よく見られる時期: いつも)



キセキレイ (よく見られる時期: いつも)

上空や水面で見られる鳥



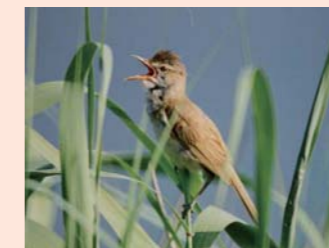
ミサゴ (よく見られる時期: いつも)



トビ (よく見られる時期: いつも)

見分けポイント おなかの色と尾をたたんだ時のかたち
ミサゴは飛んでいる時、おなかの白色が目立つ。また、トビの尾は広げるとまっすぐで、たたむと矢のようなかたち(凹型)になる。

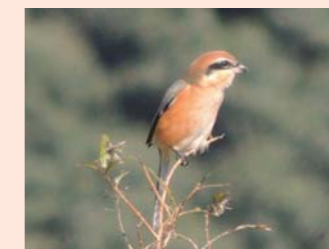
草地や農地で見られる鳥



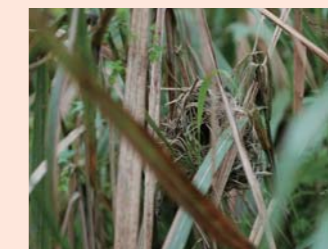
オオヨシキリ (よく見られる時期: 夏)



キジ (よく見られる時期: いつも)



モズ (よく見られる時期: いつも)



カヤネズミの巣 (鳥ではありませんが… 見つけたら超ラッキー!)

非常に珍しい鳥



ナベヅル
冬季に四万十市に渡ってくるナベヅルが、入田の河原をねぐらとして利用していることがわかっています。

